

2016 年度も、職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある・参加する人にスポットを当てた活動（国際協力に関心を持つ人を増やすこと、NGO に関わる人同士をつなぐことが、NGO・国際協力活動への理解や NGO の活性化につながるという考えにもとづいた活動）を展開しました。

FUNN 職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGO に関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感ぜられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGO と他セクターをつなぐ」

「NGO と、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスを行い、NGO と他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGO の社会的基盤づくりを促進する。

事業報告 目次

1	2016 年度事業別報告	
1-1	NGO の活動や運営に関する支援	2
1-2	国際協力に関する調査・提言	3
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	5
1-4	NGO 活動に関する人財育成	12
1-5	NGO 間及び各種団体との連携促進	13
2	組織	
2-1	組織運営・体制	14
2-2	会員	15

1. 2016 年度事業別報告

1-1. NGO の活動や運営に関する支援

1-1-1. 2016 年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2016 年度の活動

① 助成金、NGO 活動に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

○実施内容

主にメールを通して、外務省や JICA、JANIC などからのイベント情報、助成金情報、物品寄付、声明や賛同に関する情報などの提供を行いました。

○成果

加盟団体からの物品寄付に関する情報を配信したところ、マッチングに繋がりました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○実施内容

メール、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体をはじめとした NGO の情報発信を行いました。

○成果

加盟団体から依頼を受けた情報については滞りなく配信することができました。

③ NGO の組織・能力強化の支援

■ 九州地域 NGO 活動助成金（真如苑共催）

○実施内容

宗教学法人真如苑との共催で、加盟団体を対象にした助成金事業を企画、実施しました。7 団体からの応募があり、半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、5 団体の事業が採択されました。

○説明会兼報告会：2016 年 6 月 22 日（水）

報告：フレンズ国際ワークキャンプ九州（事業助成）、

NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク（組織基盤助成）

○審査会日：2016 年 8 月 27 日（土）

○採択団体と事業：

（特活）ISAPH：「ラオス国母子保健プロジェクトに関する活動基盤整備」

（特活）九州海外協力協会：「カンボジア農村の手仕事支援」

NPO 法人聖母：「マラウイ国ムジンバ県カプタ教育圏内小学校給



▲説明会兼報告会の様子



▲審査会の様子

食提供計画への調理器具（釜戸）支援事業」

フレンズ国際ワークキャンプ九州：「フィリピンの貧困村でのインフラ整備事業」

モザンビークのいのちをつなぐ会：「～日本とモザンビークの相互理解のための国際協力啓蒙活動～2016年マコンデ族ナジャのアミーゴ音楽公演 & アフリカントーク」

○成果

今年度は新たに前年度採択団体による報告会と募集要項等の説明を行う説明会を開催しました。FUNN の正会員団体であることを助成金申請団体の条件としていたところ、1 団体から加盟団体の申請がありました。

支援を受けた団体は助成金を有効に活用し、各プロジェクトを効果的に進めることができました。

■ ボランティア・マネジメント研修

JICA「NGO 等提案型プログラム」を活用し、ボランティアや人材活用をテーマにした NGO の活動環境整備に寄与する事業を予定していましたが、申請・実施に至りませんでした。

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2016 年度の方針

NGO のネットワークとして、NGO や市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2016 年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2016 年度 NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会

○実施内容

ODA 政策協議会コーディネーターに応募し、外務省と NGO 間の調整や議題の調整等の業務を高橋良輔理事が担当しました。また第 3 回目の協議会を福岡で開催するにあたり、FUNN が開催地事務局として業務を担当しました。

○各回詳細：

NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会コーディネーターに応募し、高橋良輔理事が参加しました。また第 3 回 ODA 政策協議会、第 3 回連携推進委員会を福岡で開催しました。

1. 全体会議 6月14日(火) 14:00～16:00 外務省南国際大会議室 893号室

- | | |
|------|--------------------------------|
| 報告事項 | (1) 世界人道サミットの結果と市民社会の活動について |
| | (2) G7 伊勢志摩サミットの結果と市民社会の活動について |
| | (3) SDGs 推進本部の発足 |

- | | |
|------|--------------------------------|
| 協議事項 | (1) 2015 年度 NGO・外務省定期協議会の成果と課題 |
|------|--------------------------------|

2. 第 1 回 ODA 政策協議会 7月28日(木) 14:00～16:00 外務省南国際大会議室 893号室

- | | |
|------|---------------------------|
| 報告事項 | (1) SDGs の ODA 政策への反映について |
|------|---------------------------|

- (2) 平成 28 年度開発協力重点方針について
- (3) 「特定秘密の指定における ODA 関連情報等の取扱いについて」
- 協議事項 (1) G8 食料安全保障及び栄養のためのニューアライアンス
- (2) 「中東地域の安定化に向けた貢献策」としてのシリアの和平と和平の基盤づくりに
向けた取り組みについて

3. 第 2 回 ODA 政策協議会 12月1 (木) 14:00~16:00 外務省南国際大会議室 893 号室

- 報告事項 (1) 2017 (平成 29) 年度外務省予算要求における ODA 関連予算要求の重点
項目について
- (2) 南スーダンに対する ODA の実績と現政府に関する日本政府の認識及び援助の
方針
- (3) 国際女性会議 WAW ! 2016 の開催について
- (4) プロサバナ事業に関する意見交換会および活動報告

- 協議事項 (1) SDGs 実施指針について

4. 第 3 回 ODA 政策協議会 2月23日 (木)

13:00~15:00 福岡リファレンス駅東ビル会議室 D

- 報告事項 (1) 人権の尊重とその実質化について
- (2) SDGs 実施指針について
- (3) 日本の ODA におけるジェンダー視点の主
流化について

- 協議事項 (1) SDGs 実施 地域ステークホルダーとの連
携について



▲福岡開催を受入れました

- (2) モザンビーク「ナカラ経済回廊開発」とガバナンス・人権

○成果

各回ともに事前の打合せ・本会議にコーディネーターとして参加し、開発援助に関する国内外の政策動向の把握を行いました。協議会で得た情報や議論の状況は、各月の理事会に報告しています。特に 2016 年度は第 3 回 ODA 政策協議会を福岡で開催し、併せて連携推進委員会の同日開催も実施することで、地域の NGO の政策提言への参加を促しました。ODA 政策協議会では、事務局の本田正之が SDGs 実施に係る地域ステークホルダーとの連携について議題の提起を行いました。

■ 秘密保護法 NGO アクションネットワーク (NANSL)

○実施内容

特定秘密保護法に対応するため、国際協力 NGO が相互に協力する仕組みとして設立された秘密保護法 NGO アクションネットワークの構成団体として運営に参加しました。

○成果

主に地域ネットワーク型 NGO 8 団体が 1-2 か月に一度 SKYPE による会議を開催。会合には高橋良輔理事が参加しています。特定秘密保護法が NGO やその関係者に適用された際に協同して対処できる

ように情報共有を行っていますが、2016 年度は NGO への同法の適用は行われなかったものとみられます。また 2016 年度は外務省との ODA 政策協議会で ODA 情報の秘密保護指定からの除外についても確認をしています。今後の適用の際に NGO が迅速に対処できるように、同ネットワークの活動を 2018 年 3 月まで続けることを決定したほか、適用事案が生じた際に支援を受ける弁護団との連携協定も延長しています。2017 年度はこの中間支援組織間のネットワークを市民社会スペースの確保や拡張のためにどのように活用していけるか、検討が行われる見込みです。

■ NGO 非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わる NGO や、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体である NGO 非戦ネットの活動に賛同し、メーリングリスト等による情報共有を行いました。

○成果

FUNN として安保法制に反対の意思を表明する効果があります。メーリングリスト・HP を通じて反対署名の呼びかけ、各種の関連イベントの情報共有が行われており、引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

■ 2016 年度 NGO-JICA 協議会

○実施内容

NGO と JICA の対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換である NGO-JICA 協議会に参加しました。

○成果

NGO と JICA の連携に係る最新情報の入手や、NGO 等関係者とのネットワークづくりの場になりました。



▲シェア金沢を訪問

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2016 年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2016 年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース

○実施内容

国際協力、NGO、加盟団体、FUNN の活動の情報発信ツールとして、2 か月に 1 回 700 部（計 6 回）発行しました。

○成果

加盟団体、個人会員、地域 NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布することができました。県外の図

書館にも配架していたことから、機関誌を読んだ市民からの問い合わせや相談が寄せられました。

■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

○実施内容

FUNN や加盟団体を中心とする NGO のイベントやボランティア情報などを掲載したメールマガジンを隔週水曜日に発行しました。また、Facebook、Twitter などのツールを活用し、FUNN や加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

■ パンフレットリニューアル

○実施内容

ボランティアを中心に、FUNN のパンフレットの見直しとリニューアル作業を行いました。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの写真を使うことができ、一般の人の目に引くデザインになりました。

○成果

イベントや講演などにおいて新しいパンフレットを使って FUNN の紹介を行いました。初めて FUNN を知る人が事務所を訪れてみたくなるようなパンフレットで、実際に訪問していただいた方もいました。



▲新しいパンフレット

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■ 倶楽部 FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催しました。

日にち	タイトル	講師	参加者数
5月20日（金）	私の国際協力との出会い	井口史子さん	23名
6月10日（金）	世界の子どもたちとおいしいごはんを～nextカンボジア	村岡靖さん	24名
7月1日（金）	すべての難民が、難民でなくなるその日まで。-日本からできる国際協力-	吉良彩希さん	17名
8月5日（金）	暑気払い！	なし	15名
9月2日（金）	お腹を減らしているすべての子どもに給食を！	山崎裕章さん	10名
10月12日（金）	アフリカ・モザンビークの暮らしと音楽	榎本恵さん	8名
11月4日（金）	長崎発！グローバル NGO の挑戦！	藤田勇樹さん	15名
12月2日（金）	FUNN をいつも支えてくれてありがとうパーティー	なし	17名
1月13日（金）	FUNN 新年会	なし	14名
2月3日（金）	国際 NGO：子どもたちが未来を語る・創る活動を～ソマリ遊牧民と共に歩んだ国際協力	中原由美子さん	8名

3月10日(金)	国際協力学生サミット実施報告	なし	13名
----------	----------------	----	-----



▲7月の様子



▲12月の様子

○成果

国際協力に関心がある市民の参加機会を提供する入門編の事業として開催し、計 164 人が参加しました。NGO の理解、参加促進につなげることができました。

■ NGO 合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGO の活動に参加したいという大学生を対象に、講座と NGO のブース出展を組み合わせた事業を西南学院大学と連携して実施しました。また、本説明会に出展した団体が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生へ参加費補助を行う仕組みが新たに設けられました。



▲多くの大学生が参加しました

●日時：6月8日(水) 15:15～18:00

●会場：西南学院大学

●出展団体：ACE 福岡グループ、NPO 法人エスペランサ、一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン、(特活)九州海外協力協会、くるんて～ぷの会、認定 NPO 法人ソルト・パヤタス、Save the African Children、認定 NPO 法人地球市民の会、NPO 法人日本国際ワークキャンプセンター、(特活)バングラデシュと手をつなぐ会、フレンズ国際ワークキャンプ九州、NGO 福岡ネットワーク

●参加者：約 60 名

○成果

ボランティアや国際協力に関心の高い学生が福岡の NGO と出会い、実際に現場を訪れるきっかけづくりになると好評でした。また今年度も、合同説明会に出展した NGO が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生に対して、西南学院大学から参加費の一部補助を行う制度が実施されました。

■ 第 17 期 NGO カレッジ「世界に踏み出す国際協力～私が変わる、ココから変える～」

○実施内容

国内外の現場で実際に活動に取り組む講師を招き、国際協力のリアルなお話を通して世界中で起こる課題やその解決に向けた取り組みを学び、自分の一歩を考える連続講座として開催しました。

日にち	タイトル	講師	会場	参加者数
2017年2月4日	未来をつくる力を育む	栗田佳典さん(認定)	A.R.K ビル 会	13名

日 (土)		NPO 法人テラ・ルネッサ ンス 啓発チームマネー ジャー)	議室 C	
2017 年 2 月 12 日 (日)	暮らしを変える食料の話	神田浩史さん (NPO 法 人泉京・垂井 理事)	アクア博多 会議 室 E	15 名
2017 年 2 月 18 日 (土)	フェアトレード的・幸せな 選択	明石祥子さん (フェアト レード ラブランド代表)	アクア博多 会議 室 E	14 名
2017 年 2 月 25 日 (土)	遠くて近い世界と地域	西川芳昭さん (龍谷大 学経済学部 教授)	A.R.K ビル 会 議室 C	6 名
2017 年 3 月 11 日 (土)	結んだ先に見えたこと	八尋幸隆さん (むすび 庵 代表)	つどい処 むすび庵	9 名
2017 年 3 月 18 日 (土)	私が変わる、ココから変 える	藤井大輔さん (九州国 際大学国際関係学部 准教授)	福岡 NPO 共同 事務所「びおとー ぷ」	6 名
2017 年 3 月 25 日 (土)				5 名
2017 年 3 月 26 日 (日)				5 名



▲栗田さんのお話



▲懇親会も大盛り上がりでした



▲むすび庵の畑訪問



▲アクションの発表

○成果

世界で起こる課題と解決に向けた取り組みを理解できるようになり、普段の暮らしから取り組めることを考え、実行する人を養成することを目的に開催しました。アンケート結果から、参加者のほとんどがグローバルイシューや社

会的課題に対する理解を深めることができました。また、参加者はグループに分かれて世界の課題解決に繋がる自らの取り組みを検討し、アクション計画を立てることができました。（世界の人びとのための JICA 基金）

■ 外務省「NGO 相談員」

○実施内容

外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育機関等からの NGO や国際協力に関する相談業務を行いました。2016 年度の年間相談件数は 560 件（15 年度 456 件）でした。

○成果

2016 年度は、「一般市民に対して、世界と繋がり実際に行動する具体的な機会を提供する」「課題解決のためのアドバイスを通して NGO 自身の手によって課題が解決される」ことを目標に実施しました。

イベント出展時には相談者を待つだけでなく、簡単なクイズに答えてもらうことから国際協力への関心を持ってもらい、その後の具体的な相談を引き出すという仕掛けを行いました。また、講演を行う出張サービスでは SDGs をテーマにしていたことから参加者の生活と結びつけた話をする事でイメージの具体化を図りました。これらの工夫により、相談対応後にイベントやボランティアに参加する市民が現れたことが大きな成果です。

■ NGO 相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や講演活動を積極的に実施しました。2016 年度は 11 件の出張サービスを実施しました。

日にち	企画名	場所
2016 年 10 月 2 日 (日)	ハートフルフェスタ 2016	市役所前ふれあいひろば
2016 年 10 月 30 日 (日)	地球市民どんたく 2016	天神中央公園
2016 年 11 月 5 日 (土) 6 日 (日)	アミカス記念祭	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
2016 年 11 月 26 日 (土)	あすばる男女共同参画フォーラム	福岡県男女共同参画センター「あすばる」
2016 年 12 月 11 日 (日) 12 日 (月)	考える国際協力セミナー & 鹿児島県の国際協力機関への広報活動	かごしま県民交流センター
2017 年 1 月 24 日 (火)	北九州市の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	JICA デスク北九州
2017 年 2 月 8 日 (水)	熊本市の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	JICA デスク熊本
2017 年 2 月 21 日 (火)	佐賀市の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	JICA デスク佐賀
2017 年 2 月 26 日	地域から始める。国際貢献 ～見て、学んで、や	久留米市市民活動サポー

(日)	つてみよう～	トセンター「みんくる」
2017年3月7日 (火)	「NGO 相談員と語る！ 宮崎の国際協力活動のためにできること」& 宮崎県の国際協力機関等への広報活動	NPO 法人ままのて／JICA デスク宮崎
2017年3月9日 (木)	長崎県の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	JICA デスク長崎
2017年3月14日 (火)	大分県の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	JICA デスク大分



▲ラブランド明石さん訪問



▲多様な参加者が集まった宮崎出張

○成果

今年度は通常の出展イベントに加えて、新たに九州各県の国際協力推進員を訪問することができました。目的としては、①地域の国際協力の状況ヒアリング②NGO 相談員事業の紹介③NGO 相談員受託団体の活動紹介④国際協力機関等と NGO 相談員受託団体との連携可能性の検討、以上を目指して行いました。訪問によって関係者と顔見知りになり、関係構築につながりました。

■ 佐賀大学「国際協力論」／福岡国際大学「国際協力論」

○実施内容

国立大学法人佐賀大学「国際協力論」および福岡国際大学「国際協力論」において、原田君子が非常勤講師となって下半期週 1 回の授業を担当しました。

○成果

佐賀大学の受講生は 18 名、福岡国際大学の受講生は 16 名でした。多くの学生に国際協力への興味を持ってもらうことができました。

■ 講師派遣

○実施内容

大学や小中高校での総合学習の授業や公民館、市民・他団体の取組・企画に FUNN 職員などを派遣、および派遣の調整を行いました。

日にち	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
5月18日(水)	夢カフェ	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	約100名
10月22日	NGOの活動と国際	福岡県立大学	福岡 NPO 共同	約20名

(土)	協力		事務所「びおとーぷ」	
11月28日(月)	NGO/NPOの活動と経営	北九州市立大学ビジネススクール	小倉サテライトキャンパス	約10名
12月7日(水)	国際協力とNGO	日本経済大学	日本経済大学	約100名

■ まだ知らない世界～高校生から見る国際協力～

○実施内容

インターン生による企画で、高校生を対象に、グローバルなフィールドを知ってもらい、世界に目を向けグローバルに活動するためのキッカケとなるイベントとして開催しました。自分にも世界でできることがあるかもしれないと自分から動き出せるような工夫をこらしました。

- 日時：7月18日(月) 15:00～17:00
- 会場：福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん
- 参加者：25名

○成果

イベントの満足度は5段階で最も評価の高い「とても満足」と答えた人が89%でした。また、24時間以内に取り組むことが決まったと答えた人は100%となり、自分の夢を達成するための第一歩を全員が考えることができました。夢の第一歩を踏み出すために実施した「24時間アクション」宣言ですが、イベント終了後に実際に取り組んだことを報告するメールをもらうことができました。

また、インターン生が主体的に発案した企画のため、企画実施に向けたアドバイスや指導を学生にすることで人材の育成にも貢献しました。(西日本国際財団助成金)



▲高校生たちが多く参加

■ ふくおかファンドレイジングゼミ/バルトーク

○実施内容

福岡市主催、NPO法人アカツキが企画運営を行うファンドレイジングゼミに参加し、計4回の講座を受講しました。またこの学びを受けて、実際に事業企画に携わるという目的で、参加団体が合同でチャリティイベント「バルトーク」を企画し、実施しました。

- 日時：1月28日(土) 14:00～17:00
- 会場：イルコルティーレ
- 参加者：40名

○成果

ファンドレイジングに必要な事業企画や会計等の知識とテクニックを習得することができました。また、チャリティイベントの企画運営では他団体との共同作業が求められ、経験を積むことができました。



▲「男らしさ×女らしさ」をテーマにトーク

■ 国際協力学生サミット

○実施内容

九州 7 県から国際協力に関心を持つ／活動する大学生が一堂に集まり、これからの国際協力を九州という場所から盛り上げていくために、私たちはどのように協力して活動をしていくことができるかを議論し、さらにお互いの親交を深める学生のサミットを開催しました。また開催にあたり、12/21～1/31 の期間クラウドファンディングにチャレンジし、目標金額の 20 万円を超えるご寄付をいただくことができました。

●日時：2月17日（金）13:00～17:00

●会場：サンライフホテル 2・3 3300 号室（福岡市博多区博多駅東 1-12-3）

○成果

それぞれの参加者が国際協力に取り組む上での課題を共有しあい、お互いにアドバイスをを行いました。これからもサミットは継続的に行っていく方針となり、今回のメンバーが実行委員会的に進めていくこととなります。今後は学生だけでなく NGO や一般の方など多様なアクターを巻き込んで行うことを検討しています。



▲7 県の学生代表が集合



▲最後に記念撮影

1-4. NGO 活動に関する人財育成

1-4-1. 2016 年度の方針

FUNN や福岡の国際協力活動の発展に資する人材の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2016 年度の活動

① 人材確保・育成の為に施策

■ ボランティア

○実施内容

国際協力や NGO の活動に関心のある方を FUNN のボランティアとして受け入れました。NGO 相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

○成果

ボランティアが中心となり、FUNN の新しいパンフレットが完成しました。また国際協力ニュースの発送作業やイベント時のブース手伝いなど協力をいただきました。



▲多くのボランティアが参加しました

■ インターン

○実施内容

週 10 時間、3 ヶ月以上勤務をするインターンを 2 名受け入れました。田中ゆうさん（4 月～7 月）、阿部詩織さん（10 月～12 月）。

福岡教育大学、九州国際大学、NPO 法人ドットジェイピーからのインターンを受け入れました。

○成果

FUNN でのインターンを機に国際協力団体を立ち上げた学生や、終了後もイベントへの参加やボランティアとして関わってもらうことができました。

1-5. NGO 間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2016 年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGO と NGO を繋ぎ、NGO とは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指します。

1-5-2. 2016 年度の活動

① ネットワークの構築

■ ネットワーク活動

○実施内容

(特活) 国際協力 NGO センター、(特活) 関西 NGO 協議会、(特活) 名古屋 NGO センター、動く→動かす、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA 国際協力推進員、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、福岡県 NPO・ボランティアセンター、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロセンター」、福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」など FUNN が加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、事業面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。

■ NGO と企業の連携推進ネットワーク

○実施内容

「NGO と企業の連携推進ネットワーク」(事務局：(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)) に参加し、NGO と企業の連携のための情報収集に努めました。

○成果

地球規模の課題解決に向けた NGO と企業の連携の最新事例やノウハウなどの情報を手に入れることができました。

■ 地域ネットワーク型 NGO と JICA の意見交換会

○実施内容

2016 年度第 2 回 NGO-JICA 協議会 (金沢開催) の機会に併せて 9 月 2 日 (水) に行われた JICA 主催の意見交換会に参加し、事例報告を行いました。

○成果

NGO-JICA 協議会と本意見交換会での主張や議論によって、前記の通りの成果を得ました。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【代 表】 ニノ坂保喜／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 代表

【副代表】 藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部
准教授

楠原圭子／アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム 事務局

【理 事】 大谷賢二／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長

河上雅夫／NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク 理事

高橋良輔／認定 NPO 法人地球市民の会評議員、青山学院大学地球社会共生学部教授

瀧本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州 事務局長

原田君子／（特活）NGO 福岡ネットワーク 事務局長

【監 事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会 代表

事務局

【事務局長】 原田君子

【職 員】 本田正之、瀧村卓司、中原亮

【会 計】 岩本直子

【機 関 誌】 多原真美

【インターン】 田中ゆう、阿部詩織

■通常総会：2016年5月28日（土）福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室

■理事会：毎月1回

■事務局会議：毎週水曜日

2-2. 会員

正会員（全 29 団体）

NPO 法人 ISAPH

アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム（FNA）

（特活）アジア女性センター

（特活）明日のカンボジアを考える会

認定 NPO 法人 ACE

（特活）エスペランサ

カリブーニケニアの会

（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン

（特活）九州海外協力協会

くるんて〜ぶの会

コミュニティコミュニケーション・サポートセンター（Commu）

債務と貧困を考えるジュビリー九州

JVC 九州ネットワーク

NPO 法人聖母

Save the African Children

認定 NPO 法人ソルト・パヤタス

NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク

認定 NPO 法人地球市民の会

チベットを知る会

NPO 法人トゥマンハティふくおか

（特活）NICE

国際協力 NGO NESTEP

ネパール歯科医療協力会（ADCN）

（特活）バングラデシュと手をつなぐ会

バングラデシユピルガゾン村診療所実行委員会

PP21 ふくおか自由学校

（財）福岡 YMCA

フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC 九州）

モザンビークのいのちをつなぐ会

個人会員

賛助会員（個人） 14 名

賛助会員（団体） 0

賛助会員（企業） 0

通信会員 35 名

以上